

<1年生>

1年1組

「はしの上のおおかみ」



おおかみやうさぎ、くまの会話や行動を劇化して取り組み、登場人物の気持ちに迫り、「しんせつ」ということを考えました。

親切にすることや親切にしたときの気持ちよさなどを感じることができました。教師からは、命がけの親切があるという話を聞きました。

1年2組

「ないちゃった」



きみえさんが遊んでいたボールの取り合いになってしまったのりくん。ころんでないちゃったのりくんをどう思うか、自分だったらどうするかを考えました。

友達に対して温かい気持ちをもつことが大切だと気が付きました。みんなで仲良く過ごしたいと話しました。

1年3組

「はしの上のおおかみ」



大きなくまに優しくされたことで親切にすることの気持ちよさに気付いたおおかみの姿を通して、思いやりの心について考えました。

「落ちていた物を拾ったら、ありがとうと言われて嬉しかった。」と、親切にすると、自分も嬉しい気持ちになることに気付きました。

<2年生>

2年1組

「まいごのすず」



下校途中に鍵を見付け、見たい映画を見に行くか、持ち主が分からないが鍵をなくして困っている人を助けるかを話し合い、親切や思いやりについて考えました。

「ありがとうって言われて自分も嬉しい気持ちだな。」と相手の喜びを自分の喜びにつなげていました。

2年2組

「ぴよちゃんとひまわり」



小さな丘の上で出会ったぴよちゃんとひまわりの関係を通して、命のかけがえのなさや、受け継がれる命について考えました。

仲良くなったひまわりは枯れてしまったが、同時に新たな命の誕生を感じた時のぴよちゃんの気持ちを考え、発表しました。

2年3組

「ぐみの木と小鳥」



困っているりすのことを考え、激しい嵐を前葛藤しながらも、ぐみの実をくわえて飛んでいく小鳥の気持ちを中心に親切や思いやりについて考えました。

「クラスの友達がみんなのために名札を毎日渡してくれている。」など、身の回りの思いやりにも気付きました。